

雄大な石垣と桜
津山城跡

指定区分	国指定史跡
読みかた	つやまじょうあと
所在地	津山市山下
指定年月日	昭和38年9月28日
解説	津山藩初代藩主森忠政が慶長9年(1604)から13年の歳月をかけて築城した。丘陵を利用した平山城で、本丸を中心に二の丸、三の丸などを配する。明治初年に建物は撤去されたが、豪壮な石垣から往時を偲ぶことができる。一帯は鶴山公園として整備され、桜の名所として知られる。
アクセス方法	JR津山駅から徒歩15分
公開状況	【鶴山公園】開園:8:40~19:00(10~4月は17:00まで) / 閉園:12/29~31 / 有料
設備	駐車場は周辺有料駐車場を利用 駐車場  トイレ  障害者用トイレ 
備考	

きつずページ

していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	津山城跡
よみかた	つやまじょうあと
しょざいち (所在地)	津山市山下
していつひ (指定した日)	昭和38年9月28日
せつめい	津山城は江戸時代(えどじだい)のはじめごろに13年かけて築(きず)かれた城(しろ)です。明治(めいじ)になって取(と)り壊(こわ)されてしまいましたが、りっぱな石垣(いしがき)だけは今も残(のこ)っています。鶴山公園(かくざんこうえん)として、西日本(にしにほん)でもっとも桜(さくら)がきれいなところとして有名(ゆうめい)です。